夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市諸延五一
電話387番
編集兼発行人　樫村清

いづみ牛乳
牛乳で一家楽しく健康に
いづみ酪農組合

ガス会社の要求
市で全面協力決定

磐城市議会工場誘致委員会は、昨二十一日市役所で開催、ガス会社（社長深山東八氏）の誘致について協議を行つた結果、ガス会社設立に伴う、市に対する協力事項申入についてはこれを承認する事に決定、市長並に議長名を以て協力する旨の回答を行つた。

当初会社側で希望していた工場敷地（小名浜第二小学校裏附近）の予定地については、先般中田助役が出県、この点について県と協議したが、同地内は将来都市計画による住宅街となつているので、工場地として難色がある。

従つて将来工場地帯と豫定されている、磐城市内（小名浜地区）新地地内を豫定地とする模様である尚、同工場は第一カ年度計画として八千万円、二、三カ年計画として二千万円を事業資金としている

海上保安協会支部総会

来る二十五日午後一時より海上保安協会県支部会（支部長三代義勝氏）第二回総会を小名浜漁業組合会議室で開催し、本年度予算、事業計画の審議をなし、任期満了による役員の改選を行うことになつた。

人形劇開催
小名二小と江名で

無形文化財として有名な「糸あやつり人形劇」結城座は、各学校を巡回公演して好評を博しているが更に磐城市内で左の日程で行うことになつた。

▼十月二十七日　小名浜二小
江名小
▼〃二十八日　小名浜一中
中の作漁業会々議室（夜五時

今日磐城市内を
高松宮御巡視

高松宮は御豫定通り本日午後一時十三分江名漁港に御着きになり、江名漁業協同組合前広場に於て、黒川組合長より漁港の施設及同港の漁獲高等の御説明を受けられ、同港一時二十三分頃出発、小名浜商港二時四十三分着、同港三千屯フ頭突端に於て、磐城市中田助役より一万屯フ頭工事等小名浜商港の概況について御説明を受けられた。

三時十五分、市内高山日本水素工業株式会社にお着きになり、同社々長室に於て荘野社長より、同工場の概況について御説明を受け、車上より水素工場内を御見学、試験操業中のコツパース工場の御視察を終り、三時四十分常磐市の御宿舎に向われた。

注目される
市名變更特別委
二十五日才一回会合

磐城市議会は九月二十九日の本会議協議会に提案された「市名改称特別委員会」構成の人選については長瀬議長一任となつていたが、このほど人選を終り、来る二十五日午後一時より第一回市名改称特別委員会を開催、同会正副委員長の互選を行い、今後の方針について協議することになつた。

特別委員は、小野務平、菅原勲、小林仁一郎、加沢喜三郎、遠藤勝馬、鈴木啟、橋本雄吉、小林重三、鈴木吉次郎の九氏で構成される。

これは九月定例議会の二十六日、藤社大一（小名浜）吉田勝記（泉）安藤力（渡辺）の三市議の署名を得て正式に長瀬議長の手許に市名変更の発議案を提出したもので

この市名変更は二十九日の本会議に上程されるはずであつたが、問題の磐城市を小名浜市に変更する、藤社大一市議らの提案はこれを議題として取上げず、本会議が終了すると同時に、市議全員の協議会に切換え、協議案として提出されたものである。

サンマ値持ち直す
今日六二円の高値
貫カ円の不安一掃

小名浜魚市場に本日昼迄に水揚されたサンマは総貫数は約一四、七〇〇貫だつた。

二十六号台風、二十日午前六時の風雨注意報の通り海上模様が悪るかつた影響をうけて、本日のサンマ値はややもちなおされて来た。

昨二十一日中の作漁港に入つたデツキ積のもので貫当り五円という相場も出来ない値代があつて、前途を不安がらせて居た矢先、本日貫当り六二円迄になり安値で三二円になつた事は、今までの不安一掃に役立ち心強いものを感じさせた。

国民助け合い作文募集入選

相互扶助

磐城市立小名浜第一中学校二ノ六
新妻義輔

一体近代の人々は相互扶助の考えに欠けていると思うのである。一人々がただ自己本位の生活に満足して、他人をかえりみることをしないであろうか。特に敗戦以来この傾向は強いのでないかと、思われてならない。

日々の新聞ラジオが報道する種々の社会問題の多くは、その大部分が生活苦というところにその原因を、おいている。これもきびしい敗戦の試練ではあるが、この苦しい生活に私達の美しい気持までがけがされ、ゆがめられ、相互扶助の精神までを忘れさせるようなことがあつてはならないのである。

「貧すれば鈍する」とか、貧しさは人の心をややもすればやましいものにしがちである。

必要が満たされないと、どうしてもいやしくなり、何とかして自分だけでもいいからよくなろうと、他人のことをかえりみず、他人をおしのけて進むいやしい根性になりがちなのである。その上しだいに欲がわき、全く自分本位の勝手な生活をするようになつてくる。極端な自己本位で自分さえ幸福になれば、偉い人になればよいと思う。

しかし、いかに自分だけが幸福になつても、とりまくまわりの人々の中に不幸な人々が一人でもいたとするならば、それは本当の幸福ではないのであり、お互にゆずり合い、[illegible]うところに始めて真の幸福が存在するものである。

多くの犠せいの上にたつ自分だけの幸福はみにくい、まちがつた幸せであつて、又その人自身も本当の意味の幸わせは感じられないはずである。

古代ローマ、ギリシヤにせよ、世界の歴史を飾つた豪華版であつたが、その蔭には、血と汗と苦斗にあえぐドレイ的な人々の労働があつたのであるし、「平家一族でない者は人ではない」と豪勢な生活を誇つた平安朝のはなやかな文化のかげには、一椀の食にもありつけない、しいたげられた農民があつたことを考えねばならない。これは決して幸せな国とは言えないのである。

最大多数の最大幸福がかなえられてこそ、真の幸福があり、美しい国といえるのだと思う。それには社会全体が、又私達一人一人が相互扶助の精神を持つて自分の幸わせをかなえる前に他人の上にも思いを致す、ゆずり合い。思いやりの気持を持つことが先ず大切な事だと思うのである。

一人の力では到底できないような事でも、それらが二つ三つと集まると意外に大きな強い力となるのである。

先日県全体が一団となつて、不況の炭砿地帯の人々に一握りの愛の米カンパ運動を展開したが、僕たちの持つて行くほんの一合たらずの米が、学校全体となると、リヤカーでやつと運ぶほど実に多量なものになり、みんなでびつくりしたものだつた。それが町全体となると更に大きくなり、やがて郡、県となればもつともつと大きな力となるものだと非常に力強く感じさせられたことをおぼえている。

池の中に投げられた小石の波紋がしだい〳〵にその輪を広げて、やがて池全体に及ぶように私達の小さな、しかしながら美しい力を、協力でもつてだん〳〵だん〳〵と大きく育てて、いくらかでも世の中の不幸な人々に幸わせを授けて上げることが出来たならば、どんなにか楽しい明るい、真の幸わせがもたらされるであろう。

秋風によつて又やつてくる赤い羽根の募金によろこんで自分のこずかいを投ずるのも一つの助け合いの気持の表われであり、僕たちでも出来るもつともたやすい方法であろう。

マグネシウム工場
二十四日起工式

磐城市に誘致された旭化成工業株式会社小名浜工場は、工費約二億円を以てマグネシウム工場を建設することになり、請負業者戸田組（東京都中央区京橋二丁目三、代表取締役戸田勝兵衛氏）によつて二十四日午前十一時、磐城市（小名浜）渚に於て起工式を行うことになつた。

茨城県生徒の見学旅行

茨城県多賀郡華川村小学校五年生一二六名は今日午前十時小名浜着の臨時列車で、仝県精華小学校五年生は午後、とそれぞれ商港其他の見学に来市した。

潮流

秋は結婚シーズン、殊に農家は豊年満作とあつて豪勢な婚礼もあるらしいが、各地共新生活運動の一環として、結婚の合理化が叫ばれている。

平では神前結婚として、飯野八幡神社で行われることが多い。若松では公民館等で行う場合、希望によつては市長が媒酌も引き受けるという張り切り方だ。各地共料理は酒を合めて三〇〇円内外のようだ。

それにも増して簡単なのは、本紙が前に紹介した水素工場勤務の新夫妻のように、市役所助役室で、友人五名を呼んで行つたような簡単そのままの式を真似る御人が続かないものかな。

結婚は人と人との結合で、道具や料理の数には関係がないはず。

△

結婚すれば子供が生まれるのは自然の理だが、この人口増加は国家にとつて個人にとても重大問題である。

来る二十四日から一週間、東京で「国際家族計画会議」が行われる妊娠調節で大効果を挙げている常磐炭砿の直接指導者、内郷病院長の林英郎博士が出席して、実際の研究発表を行うことになつている常磐炭砿では「磐崎砿」をモデル地区として企画実施約三年、実施以前と比較して妊娠率は五〇%、中絶率は二二%、非常な好成績を示している。今後更にこれが実を結べば十年後には、出産、保育、家族など諸手当を含め、常磐炭砿側では、約二億六千六百余万円の経費が節約され、各家庭でも勿論相当の負担軽減となる。

磐城市でも指導員を置いて、妊娠調節の指導に乗り出して居る。大いに成果を挙げられるより期待して止まない。

天氣予報

【今晩】北西の風晴【明日】西よりの風、晴後時々くもり。【明後日】南よりの風、くもりがちで雨となりましよう。

新選組追撃
大友柳太郎
千原しのぶ
月夜の傘
田中絹代
宇野重吉
19→23まで
キンビ館

夏目漱石の
三四郎
★總天然色★
廿三日より
蝶々夫人
Madame Butterfly
いわき座

内科・外科・X線科
石井醫院
入院随意
磐城市本町　電話四七二番

増築落成
労災
保健
指定
幸島醫院
入院室　手術室　完備
勿来市大倉電二七三

★買つて徳用
★使つて経済
本場　石川木炭
各種取揃へ御用命御待ち致して居ります
磐城市竹町七五
デンワ一七二バン
佐久間商店

犬猫診療
往診
磐城市松ノ中
小名浜家畜医院
電話958

かくれた名藥
長生堂にあり
日本人の胃にピタリ
漢方大草胃腸散
十日分　百圓
誠実と薬効の
長生堂薬局
磐城市中島通り
電 370

改築費になやむ
鹿島神社「奥の院」
古い貴重な文化財

磐城市鳥居北の鹿島神社の本殿奥の院（九尺×六尺）が考朽甚だしく、院の周囲をとりまく龍の彫刻と牡丹に唐獅子の彫りもの等も破損度が激しく、建物が東南に傾斜して危険であり、万一倒壊したら重要な文化財を失うことになるを心配した氏子達が「奥の院」の全面改築をしようと各方面にかけ働き出した。

此の「奥の院」について郷土の考古学の権威者八代義定氏（福島県文化財専門委員会議長）に鑑定してもらつた結果は「慶安年間（今より三一〇年前）の建築要素が二割、宝暦年間（今より二〇〇年前）の様式が八割ほど含まれている。という考古学上からみた歴史的価値が明確になつた。

先ず此の「奥の院」の傾斜の原因として氏子達の見方は四方柱の狂いと、一坪半の基礎の割合に比較して屋根の部が宮造り特有のように広く拡がつて大きいので、不安定の据りに加えて院、の南にある日本水素の放出する有毒ガスの為にうつそうと繁つて居た大木の林が枯死してしまつたので、南北の四季の風をまともに受けるので、年毎に傾斜の度を増加してゆく状態にあると見ている。

去る九月九日の例祭時の折は氏子達は、此の様子に驚いて、去る二十日に氏子二百人に通知して相談した結果、院の修理を補足的に行うか、全面的に解体して考古学的に価値を失わないように新築するかということになつて、氏子大会等まで開かれたが、未だにはつきりした氏子の態度が決定されずにいる。

新築ということになると、約一〇〇万円から掛るので、神社の財産の一部を処理して財源の一部として残りは有志各位の寄附に依つて行う予定になつている。

社総代総代の佐藤右ェ門氏は

重要文化財に指定されるのは約三〇〇年以上の建築物であるそうです。

私達は今その指定を受けるということではなくて自分達が没後になつて、今補足的に修復を加えて原型を失わせてしまつたらそれこそ子孫のために申訳けがありません。

さりとて今ここで一〇〇万円のネン出ということになると、この金詰りの折から大変です。

と苦衷の程を述べていた。

この事は八代氏の鑑定のように、専門的知識のある人に依頼して修理なり、新築なりを行わなければ益々各年代の様式が混入して歴史的価値を失うという、磐城文化保存の試金石にもなるので注目されている。

富士名刺は　ナカセ

鹿島校で今日遠足

鹿島小、中学校の秋季遠足は今日二十二日清澄な秋晴れに恵まれて実施された。

行先は次の通り

中学校は全部勿来の関、小学校では一、二年が小名浜公園及海岸、四年生が常磐市境の花見平、五年生が川前、六年生が背戸ガロウとなつている。

新発足した
青果小賣商協組

磐城市の青果小売商店で結成されていた睦会（代表者吉田久氏）は去る七月解散を行い、青果物小売商の結集を計り、協同体を組織すべく準備を行つて来た。

その機運が漸やく熟したので二十一日午後一時小名浜消防団第四分団詰所に於て、磐城市在住（江名地区を除く）の青果小売業者が集り、協同体結成についての経過と準備を協議した。

これによると、磐城市青果小売商協同組合として発足する事になり関係書類の整備を行い、近く出県して認可を得る事になつている。

同組合は理事長斎藤栄氏（まめや商店）専務理事里見政雄氏（里見商店）会計理事加藤勝郎氏（柏屋商店）が選任されて居り、出資金二十一万円を以て発足することになつている。

専務理事里見政雄氏談

私共の青果小売商協同組合の商店は食品が主もであり、産地より直接共同購入を行い、市の消費者の皆様に良い品を安く提供する考えであり、江名地区の業者も加入の機運にあり、磐城市の皆様と共に栄えたいと考えて居ります。

魚菜市況

鮮魚　小名浜魚市場

さんま六二―三二

青果　小名浜中央青果市場

卵一四、八〇―一二ねぎ一〇〇―五〇玉ねぎ一〇〇―四〇人じん一三〇―七〇馬鈴しよ四―三〇さつま四五―二五里いも八〇―五〇長大根三五―一〇丸大根四〇―一〇ほうれん草一〇〇―五〇玉な九〇―七〇きうり一二〇―五〇なす五〇―一〇もやし七〇―六〇しようが二二〇―一〇〇かき一五〇―九〇

テント製造修理
鷲島テント店
金星座前デンワ九〇四

黒龍江買魚紀行

北尾政吉

今より約三十数年前即ち大正十年八月中旬、私はNGKKが露領黒龍江の露人漁場から、鮭鱒買取りのため、同社の二千屯級の冷凍汽船にて、同漁場に向つて他の職員と共に渡航した。

乗船はカムサツカ経由、浦塩沖の海洋を約半昼夜北航して、一つの小さな陸岸に接近、未投錨のまま陸上よりの連絡を待つた、陸上には僅か数軒の住宅様の建物が点在する程で、同地は水先案内人の集合所と観測された。

豫め前以て打合せに基ずき、本船の寄航と同時に、陸上より一人のマドロス風の露人が、ボートに送られて本船に乗り込んで来た。同人は水先案内でタラップより乗り込むや否や直ぐ、船長の職場のブリッヂに登つた。

彼は船長と儀礼的の握手も交さず本船々長の職務に就き、本船の船長は一時的ながら、本船運航の自由を水先人に譲つた。

船が北行を続け、黒竜江に接近するに従つて、海水は徐々に赤味を帯びて来た。そして目的地の黒龍江の水は、赤ねん土の溶解したような茶かつ色の、且つ塩味を帯びたたん水域であつた。

同方面えの航海には、干満の差が豫想外に大きいので、航海の途中約五まいる程の距離間には、航路標識として茶色に塗つたドラム罐の頭部に、白色ゴジック体の数字ナンバーを表記したる、即ちブイを五〇米間隔位毎に配置、浮かしめ、航海者はその標識ブイを針路の目標として航海するのであつた。

そしてこのブイは冬期間は流氷の関係上、翌春末で引揚げられるとの由であつた。

本船に一時的勤務した露人水先案内は、黒龍江の目的地に於て解任下船した。

本船は漁場沖え到着するや、附近の各漁場より続々と、漁獲の鮮魚鮭を本船に横付けにして来た。本船は同水域約八キロ間を、我方は二隻の冷凍船で移動、往復し、二日後には買魚満船、全部船内冷凍して帰港に就いた。

同方面の鮭は、概して北洋産より魚体は約一割方肩目であり、半淡水魚の関係上全体数の約三分の一はブナと云つて外観は北海道産のような鮮度色彩であつた。

黒竜江方面のこれ等漁業は、角網漁獲で、その手網装置は糸網でなくて、雑木の柴垣を水底に打込んだ原始的なものであつた。

本船の寄航地は青森県大みなと港であつて満船の冷凍船二隻は勇躍直航、四日後の夜半目的地に到着した。

着港の当夜は、日本海軍の大みなとに於ける観艦式挙行の日に直面し、大、小百隻内外の艦艇は何れもイルミネーションで盛装を競い海上を威圧し、特に興味を喚起したのは、大型せん水艦の水上に露出した艦型であつた。

吾が本船は、船内で冷凍出来る機械設備を有する所謂冷凍汽船であるので、買魚等には最も好適であつた。大みなと港に深夜起スピードで陸上げされた全魚類生鮭は、恰もまきのように固く凍結され、新鮮そのままであつた。（但し塩蔵ではありません）さきに乗船が深夜入港接岸の直前に於て、船尾のプロペラーに海底のボロ網が偶然からみつき、接岸不可能に陥り交通機械なき深夜に於て、徒歩にでせん水夫を迎え来る等意外の苦労をした事もあつた。

ちなみに、前記黒竜江に於て買魚積取りの頃伝聞によれば、当時黒竜江の上流の港ニコライフスクの周辺附近には、日本汽船約二〇隻が、西シベリア産木材積取りのため集結、盛んに荷役中との由であつた。

◁◁ 交通安全旬間 21日→31日 ▷▷

交通安全協会
会長　小野義一

交通事故防止対策委員会
磐城支部
委員長　菅原勲

自家用自動車組合
組合長　長瀬長寿

小名浜臨港鉄道株式會社
社長　浦田文二郎
電話　本社用務課一三〇　自動車課（直）　九八六　自動車庫（直）九九〇

磐城警察署
署長　栗田嘉一

磐城市タクシー組合
小名浜タクシー　電話六四番
港タクシー　電話五九番
泉タクシー　電話（泉）六八番
旭タクシー　電話一〇七番
小松タクシー　電話二六番

常磐貨物自動車株式會社
小名浜営業所
電話八〇三番

大野自動車整備工場
磐城市字古港二〇
電話八七番

港タクシー
磐城市横町二八
電話五九番

スクーターシルバービジョン
三菱の無免許みづしま号三輪車　販売代理店
各種自動車整備
シリンダーボーリング
自動車部品販売
長瀬自動車整備工場
長瀬裕信
磐城市潴廻三三番
電話五三七番

クロガネ号自動三輪車
メグロ号自動二輪車　浜通り特約店
各種二三輪
自動車理修
並部分品販買
植木モータース
植木博
磐城市竹町五一
電話六三八番

吉田自動車修理工場
吉田努
磐城市滑津七
電話七二九番

普通小型自動車整備
岡酸素工業所
岡忠吉
磐城市渚一ノ一五六
電話七八四番

関彰商店小名浜支店
支店長　渡辺文彦
磐城市榮町四三
電三六七・九七八